

| | | | |
|-------|-------|------|-------------|
| 3類型 | 農林水産物 | 通巻番号 | 3-29-305 |
| 地域資源名 | サンプスギ | 認定日 | 平成29年10月13日 |
| 地域 | 千葉県 | 所管省庁 | 農林水産省、経済産業省 |

事業名: 千葉県地域資源のサンプスギの被害木や間伐材等を活用した 新たな木製パーテーションポールの開発・販売事業

会社名: 株式会社山二建具
(法人番号6040001037156)
連絡先: TEL: 047-391-6111
FAX: 047-391-3983

所在地: 千葉県松戸市大橋160-4
H P: <http://www.yamanidoor.co.jp>

事業概要(地域産業資源の活用)

従来の金属製のパーテーションポールの約半分の重量と軽く、よじれ・そりが少なく、まっすぐで機能的にも安定している地域資源のサンプスギの特徴を活かして、木の温かみや優しさが特徴的な、「木製パーテーションポール」を開発・販売する。被害木の良質な部分を活かして滑らかさや艶のある「磨きタイプ」と、「間伐材タイプ」の2アイテムを開発する。



【サンプスギの被害木】

新たな需要の開拓の見通し(市場性、販路、商品の特性)

◆市場性

昨今、JAPAN・和・おもてなし等のキーワードで、日本伝統の木を使った商品オファーが増えており、2020年の東京オリンピック開催もあり、今後、ホテル・公共施設・競技場・交通機関等の整備用備品として、当該商品の需要増加が期待できる。

◆需要の開拓の方針

市場への新規投入となり、販売網の整備と市場拡大に向けたモニター調査を行い、販路開拓を進めていく。さらに、千葉県内の公共施設等への新規ルートを積極的に開拓していく。

◆商品の特性

従来の金属製と異なり、伝統・工芸・温もりを連想させる「木」のイメージを最大限に引き出すことができ、様々な公共施設やイベント会場等で活用できる。自然との調和や和の空間演出を高める簡易型間仕切りである。



【木製ラインポール試作品】

地域を挙げた取組と協力者・関係事業者等との連携

原料調達先の千葉県森林組合と連携し、千葉県サンプスギ面積7,700haの内の54%の被害率を占めるスギ非赤枯れ溝腐れ病の被害林や、間伐材の利用促進に貢献し、川上から川下そして千葉県の林産農家の抱える問題の軽減対策を図っていく。千葉県農林水産部森林課、千葉県商工労働部産業振興課、千葉県産業振興センター、千葉県木材振興協会、ちばの木活用研究会等の地域機関と連携し、サンプスギ製品の普及率増加やブランドの認知向上に取組む。